

2025年8月17日 聖日礼拝メッセージ 牧師：伊藤 博

・・空中再臨・携拳への備え・・

《テーマ》 「目を覚まし、身を慎んでいきましょう。」

・・その日があなたの歓喜の日となり、嘆きの日にならないために・・

《みことば》 Iテサロニケ5:1~11

- 1 兄弟たち。その時と時期については、あなたがたに書き送る必要はありません。
- 2 主の日は、盗人が夜やって来るように来ることを、あなたがた自身よく知っているからです。
- 3 人々が「平和だ、安全だ」と言っているとき、妊婦に産みの苦しみが臨むように、突然の破滅が彼らを襲います。それを逃れることは決してできません。
- 4 しかし、兄弟たち。あなたがたは暗闇の中にいないので、その日が盗人のようにあなたがたを襲うことはありません。
- 5 あなたがたはみな、光の子ども、昼の子どもなのです。私たちは夜の者、闇の者ではありません。
- 6 ですから、ほかの者たちのように眠っていないで、目を覚まし、身を慎んでいきましょう。
- 7 眠る者は夜眠り、酔う者は夜酔うのです。
- 8 しかし、私たちは昼の者なので、信仰と愛の胸当てを着け、救いの望みというかぶとをかぶり、  
身を慎んでいきましょう。
- 9 神は、私たちが御怒りを受けるようにではなく、主イエス・キリストによる救いを得るように定めてくださったからです。
- 10 主が私たちのために死んでくださったのは、私たちが、目を覚ましていても眠っていても、主とともに生きるようになるためです。
- 11 ですからあなたがたは、現に行っているとおり、互いに励まし合い、互いを高め合いなさい。

《今週のメッセージ》

1、主イエス様の再臨の時に挙げられる人とは、キリストの御救いを受けた人です。

a、主イエスの再臨は、「盗人が夜やって来るように来る」のです。 2 節

「見よ、わたしは盗人のように来る。裸で歩き回って、恥ずかしい姿を人々に見られることのないように、目を覚まして衣を着ている者は幸いである」 黙示録 16:15

①ノアの時代、人々が「食べたり飲んだり、めとったり、嫁いだり・・・」という日常の中で、洪水による滅びが襲いました。

37 人の子の到来はノアの日と同じように実現するのです。

38 洪水前の日々にはノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていました。

39 洪水が来て、すべての人をさらってしまうまで、彼らには分かりませんでした。

人の子の到来もそのように実現するのです。

マタイ 24:37~39

②主の再臨も、日常の中で、普通の生活をしている中で起こるのです。

b、主イエス様の再臨は、人々が「平和だ、安全だ」と言っている時に起こります。 3 節

①その時、信じていない人々の「平和、安全は」一瞬にして消え去ります。

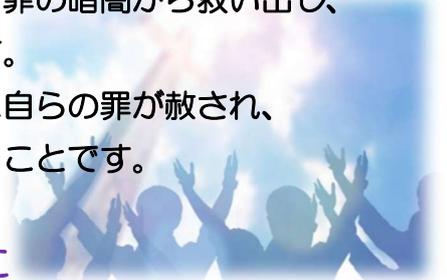
②その日は、信じていない人々にとっては、神の「御怒り」（9 節）の日であり、神の義による恐ろしい裁きがなされる・嘆きと後悔と歯噛みの日となります。



c、しかし、救い主イエス・キリストを信じる人々にとっては、歓喜と感謝の時となります。 4～5 節

①神は、キリストの十字架の死と復活により、私たちの罪を赦し、罪の暗闇から救い出し、私たちが神との愛の交わりの光の中に入れてくださったのです。

②私たちにとって、主イエス様の再臨の備えは、何よりも神の前に自らの罪が赦され、魂がイエス様の永遠のいのちで、新生しているかどうかということです。



## 2、主の救いを受けた者も、その時がいつであっても良い様に

目を覚まし、身を慎んでいきましょう。

a、「目を覚まし、身を慎んでいきましょう。」

6 節

①それは、主の再臨の際に、挙げられることを願う全てのクリスチャンへの緊急警告です。

「ですから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主が来られるのがいつの日なのか、あなたがたは知らないのですから。」

マタイ 24:42 (マタイ 25:13)

「目を覚ましていなさい *Γρηγορεῖτε* グレゴリエテ」【ギリシャ語：現在形・命令形】

「見張り続けなさい、警戒し続けなさい。用心深くしていなさい！！」

②主の警告は何度も、何度もなされます。(津波警報の時を思い出してください!) マルコ 13:31～37

目を覚ましていなさい。33 節・・目を覚ましていなさい。35 節・・目を覚ましていなさい。37 節

③「慎んでいる」とは、元々は「酒を断つ・・断酒」【原語】という言葉で、

「自制と警戒の心を持って見張り続けなさい！！」・・言葉を変えての更なる警告です。

b、しかし、それは特別な事ではなく、あなたの敬虔な信仰生活そのものなのです。

8 節

(Iコリント 13:13、Iテサロニケ 1:3、IIテサロニケ 1:3、4 参照)

①不敬虔とこの世の欲を捨て、慎み深く、正しく、敬虔に生活することです。

12 その恵みは、私たちが不敬虔とこの世の欲を捨て、今の世にあって、慎み深く、正しく、敬虔に生活し、

13 祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神であり私たちの救い主であるイエス・キリストの、栄光ある

現れを待ち望むように教えています。

テトス 2:12～13

②そうでないなら、悔い改め主に立ち返り、敬虔な信仰生活をしましょう。

## 3、キリストのからだなる教会の中で、互いに励まし合い、互いに徳を高め合いましょう。

a、キリストは、キリストのからだなる教会を、携え挙げるために来られるのです。

「わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。

わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。」

ヨハネ 14:3

b、キリストの再臨に備える者たちは、「互いに励まし合い・高め合い」その時に備えます。 11 節

14 兄弟たち、あなたがたに勧めます。怠惰な者を諭し、小心な者を励まし、

弱い者の世話をし、すべての人に対して寛容でありなさい。

15 だれも、悪に対して悪を返さないように気をつけ、互いの間で、またすべての人に

対して、いつも善を行うように努めなさい。

Iテサロニケ 5:14～15



①神様は、私達を罪から救い、贖い主イエス様との交わりに入れて下さったと同時に、キリストの教会の交わり・・兄弟姉妹の交わり・・にも入れて下さいました。

②それは教会の兄弟姉妹と互いに祈り合い・励まし合い・信仰を高め合い、再臨に備える為です。